

# 空気循環式紫外線除菌装置

## いつでも使える

装置内に紫外線ランプを収納しているためいつでも除菌が可能です。

## 簡単メンテナンス

メンテナンスは、空気取り入れ口のはこりを取るだけで OK です。  
ランプは 1日 24 時間運転し、約 1年に 1 回程度の交換（紫外線ランプ定格寿命 8000 時間）

## くりんクリン GC-152

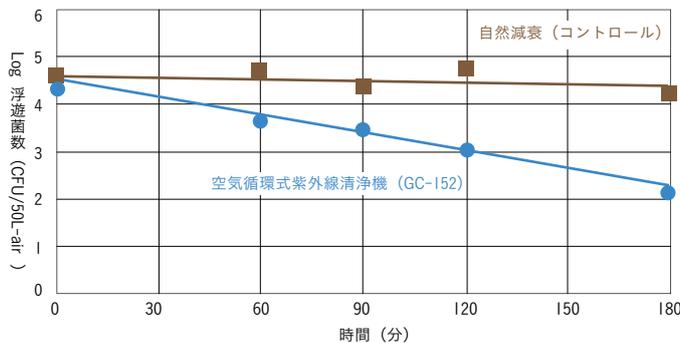
12 時間で 100m<sup>3</sup> 除菌可能



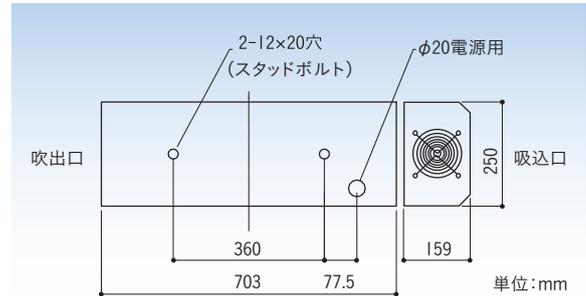
経過時間ごとの浮遊菌数 (CFU/50 L-air)

試験条件	時間 (分)				
	0	60	90	120	180
自然減衰 (コントロール)	41,000	48,000	26,000	58,000	17,000
空気循環式紫外線清浄機 くりんクリン (GC-152)	22,000	4,900	2,800	1,200	150

試験室内の浮遊菌数の推移



循環試験データ 一般財団法人北里環境科学センター (報告書番号: 北生発 26\_0309 号) 空気除菌機を運転することにより浮遊菌をどの程度除去できるかを試験チャンバーを用いて評価。評価方法は、日本電機工業会規格 JEMI467「家庭用空気清浄機」の付属書 D「浮遊ウイルスに対する除去性能評価試験」を参考。  
試験概要 室内容量 25m<sup>3</sup> [床面 (3.3m × 3.5m) × 高さ 2.2m] チャンバーの中央に GC-152 を設置しネブライザーで試験菌液を噴霧して攪拌ファンで浮遊させ、経過時間毎にインピュンジャーで吸引し浮遊菌を捕集。捕集液または希釈液を TSA 培地との混釈平板とし、36 ± 1°C で 48 時間培養 試験菌: Bacillus subtilis ATCC6633 (枯草菌芽胞)



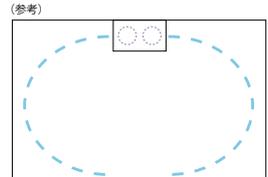
### くりんクリン GC-152 1 台で処理できる室内容量

**100m<sup>3</sup>** (間口 5m × 奥行 8m × 高さ 2.5m)

条件: 条件: 環境として浮遊菌の増殖などがなく、外部のとの空気の入れ換えがない、空調などにより空気が攪拌されている条件で空気除菌

機を半日 (12 時間) 連続運転し、枯草菌が 1/100 になると推定した参考容量です。

(※実際の環境とは異なる場合があります。)



### ● 定格

希望小売価格 (税抜): オープン

形式	定格				適合ランプ	排出風量 (m <sup>3</sup> /min)	有効取付目安 (m <sup>2</sup> )	質量 (Kg)
	周波数 (Hz)	入力電圧 AC (V)	入力電力 (W) 50/60Hz	ランプ電力 (W)				
GC-152	50/60	100	53.1/45.2	15 × 2	GL-15 × 2	1.1	100*	6.6

\*間口 5m × 奥行 8m × 高さ 2.5m